



青森河川国道ニュース



学生の視点を **活**かし 道の駅を **活**性化



道の駅いまべつ と青森大学が連携。

報告を行った、青森大学社会学部社会学科3年佐々木圭介さん(左)、同4年對馬有希さん(中)、櫛引素夫教授(右)

■H27年度から連携スタート!

当事務所では、将来の地域活性化の担い手となる人材の育成・確保と「道の駅」が地域活性化の拠点を目指し進化を遂げる事を目的に青森大学と「道の駅」いまべつとの三者で連携企画型の取り組みを実施しております。

取り組みでは「道の駅」と大学がお互いのニーズを確認し、付加価値を創出する企画・立案等を行っており、今回、学生たちが今年度取り組んできた内容についての報告を行いました。

H29年度の活動の様子



▲綿谷駅長へ聞き取り調査を行い新幹線の効果を検証



▲荒馬まつりを調査し観光客の誘導など課題を検証



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。【承認番号 平29東棟 第33号】

■マップを作って観光に役立てたい

青森大学社会学部社会学科
3年 佐々木 圭介さん



『道の駅を含めた「観光」の視点から見るとバスを待つ空き時間の活用が出来ておらず、町のPRに繋がらないことが課題です。

改善策として町や道の駅等と協力しながら、レンタサイクル利用者に観光名所等を直接記載してもらう「新・今別町マップ(仮)」を作成し、観光案内に役立てられればと思っています』